

なぜ代表的な飼料サンプルを採取することが重要なのか？

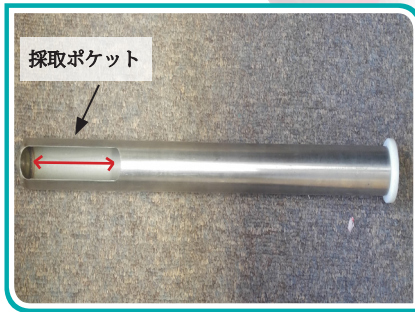
- 栄養は家禽生産において最も大きなコストとなります。納品された飼料が期待された品質より低い場合、鶏群の成績に悪影響を与えます。
- 飼料工場の目的は、安定して予測可能な高品質な飼料を生産することです。この事は、栄養士によって設計された飼料が、工場で正確に生産され、トリに届けられなければいけないことを意味します。
- 飼料サンプルを採取することは、トリに与えている飼料の情報(物理的な品質/栄養成分)を農場に提供するでしょう。必要に応じて、将来的な分析や調査に使用することができます。



方法

必要なもの

1. 油性のマーカーペン
2. サンプリングスティック/スピア
3. 500g (18 oz) のサンプルが入る密閉可能なビニール袋



方法

飼料の品質管理は、現代の家禽生産にとって重要な要素です。理想的には、バッチ毎に納品された飼料を分析すべきです。新しいバッチから飼料を確実にサンプリングするため、新しいバッチの飼料が納品された後、少なくとも1-2日空けます。

ステップ1 密封可能な袋に、サンプリングする飼料の情報を以下のように記入する：

- サンプルが採取された日付
- 農場名
- 鶏舎番号
- 飼料タイプ/コード
- 飼料が納品された日付

ステップ2 サンプルは、トリが採食している飼料に最も近いホッパーから採取する必要があります。

ステップ3 サンプリングスティック/スピアをサンプリングする飼料に挿入し、採取ポケットが下を向いていることを確認する。

ステップ4 採取ポケットが上向きになるように、スピアを180度回す。

ステップ5 飼料からスピアを引き抜く。
(採取ポケットを上向きにしたまま)

ステップ6 スピアの端にある栓を外す。

ステップ7 密封可能な袋を開け、飼料を流し込む。
500g (18 oz)のサンプルが採取されるまで、ステップ2から6を繰り返します。代表的なサンプルを得るために、サンプルを採取する際は、スピアを飼料の異なる場所や異なる深さに挿入します。

ステップ8 袋を密閉する。

ステップ9 サンプルを入れた袋を清潔で乾燥した(可能であれば)涼しい場所に置き、保管する。

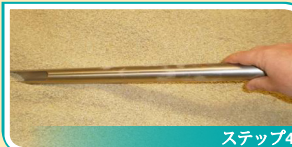
注 - 飼料サンプルは、その鶏群の飼育が終了するまで保管すべきです。もし分析の必要がない場合は、次の鶏群が到着する前の空舎期間中にサンプルを廃棄すべきです。



ステップ2



ステップ3



ステップ4



ステップ6



ステップ7



ステップ9

結果の見方

もし下記のような鶏群成績の問題が見られる場合は、物性と栄養成分を分析するために、外部の研究所に保管した飼料サンプルを送ることも良い方法です。

- FCRの悪化
- 初期の増体低下
- 後期の増体低下
- 斉一性が良くない
- 餌こぼれ
- 脚の問題
- 湿った敷料
- 羽装が良くない

物性

物性の分析は、納品された飼料の形状や粒子サイズが、合意されたパラメータに適合していることを確認するために必要です。

ブロイラーにおける推奨飼料形状

日齢	飼料タイプ	飼料形状およびサイズ
0～10日齢	スターター	篩にかけた直径1.5～3.0mmのクランブル または 直径1.6～2.4mmで長さ1.5～3.0mmの ミニペレット
11～18日齢	グロワー (通常、最初の 搬入分のグロワー 飼料)	篩にかけた直径1.5～3.0mmのクランブル または 直径1.6～2.4mmで長さ4.0～7.0mmの ミニペレット
19～24日齢	グロワー	直径3.0～4.0mm、長さ5.0～8.0mm のペレット
25日齢～処理	フィニッシャー	直径3.0～4.0mm、長さ5.0～8.0mm のペレット

結果の見方

ブロイラー飼料における推奨粒子サイズ

07

形状	スターター	グロワー	フィニッシャー
	クランプル	ペレット	ペレット
> 3 mm	15%	> 70%	> 70%
> 2 mm	40%	20%	20%
> 1 mm	35%		
< 1 mm	< 10%	< 10%	< 10%

もし粒子サイズの分析結果が上記のパラメータから外れている場合は、飼料会社に相談してください。

栄養成分の分析

栄養成分の分析は、飼料設計に対する飼料中の実際の栄養レベルを確認するために必要です。

予想される設計と比較して、分析された飼料が許容される違いに関するガイドライン

栄養成分	予想設計値との差異
タンパク質(粗タンパク質とアミノ酸)	± 5%
水分	± 10%
エネルギー	± 2%
繊維	± 10%
カルシウムおよびリン	± 10%
ビタミン	± 10%
その他のミネラル	± 10%
脂肪	最小限の量は必要
汚染物質	最大限の量以下でなければならない

もし飼料の栄養レベルが指標を下回り、トリの成績に影響を及ぼす懸念がある場合、研究所での飼料分析が必要かもしれません。実際に必要な分析は、栄養学者と協議すべきですが、粗タンパク質、カルシウム(Ca)、リン(P)、エネルギーは、はじめに調査すべき栄養素です。分析値は設計値と比較すべきであり、分析値と設計値との差異については、栄養学者と協議する必要があります。

詳細情報

- AviaTech - Feed Physical Quality(英文のみ)
- チャンキーブロイラー飼養管理ハンドブック
- チャンキーブロイラー栄養成分